
NIH に国立補完代替医療センターを設立

安全で有効な補完代替医療を認定するためには、科学的根拠のある証拠が必要です。根拠の乏しいものは、反対の効果や偽物の危険にさらされ、少なくとも経費の無駄となります。したがって、補完代替医療法を選択するためには、常にリスクとメリットの有無に注意し、科学的知識を深めておかなければなりません。

わが国では 1998(平成 10)年に、初めて本格的な代替医療に関する学術集会(第 1 回日本代替医療学会)が開催されましたが、以降、当該分野の研究会が数多く開催され、エビデンスが少なからず集積されはじめています。しかし、欧米ではすでに国が率先して補完代替医療に取り組んでおり、日本は出遅れの感は否めません。今後、わが国でも国策としての取り組みが必要とされましよう。この章では、先陣を切っているアメリカでの現状を詳述します。

NIH(国立衛生研究所)はワシントン DC の北西部の緑に囲まれたベセスダという街の広大な敷地のなかにあり、アメリカ合衆国の健康・医療関係の研究所や病院がある国立の研究機関です。アメリカでは代替医療の研究がより深く進められるとともに、増しつつあるアメリカ国民の代替医療に対する関心の高まりを受け、1992 年議会は NIH 内に、代替医療事務局(OAM)を設立し、1992 年と 1993 年に事務局に 200 万ドル(約 2 億 4000 万円)の国家予算を割り当てました。議会命令は、OAM の目的の概要を以下のように定めています。

- ・代替薬物医学治療の評価を促進する。
- ・代替療法の効果を調査し、評価する。
- ・代替医療に関して一般市民と情報を交換する情報集散センターを創設する。
- ・代替医療の治療におけるリサーチトレーニングを支援する。

その後、OAM の予算は着実に増えて 1997 年には 1200 万ドル(約 14 億 4000 万円)となりました。さらに、1998 年に入ると OAM は格上げされ The National Center for Complementary and Alternative Medicine(NCCAM)となり、予算も 2000 万ドル(約 24 億円)と増額され、NIH の 24 の機関やセンターと肩を並べるまでになりました。そして、1999 年には前年度比 2.5 倍の 5000 万ドル(約 60 億円)もの予算が割り当てられました。1999 年に NIH で大幅な予算増となったのはこの NCCAM と前立腺がんに対するもののみであるそうです。また、2000 年には NCCAM の予算はさらに増大し 6840 万ドル(約 82 億円)となっています。これらのことから、アメリカにおける代替医療の取り組み方が尋常でないことが十分うかがえます。

NCCAM は実際の臨床が行われている施設ではありませんが、NIH のなかにはクリニカルセンターがあり、そこで各種研究プロジェクトと直結される形で最先端の臨床が行われており、アメリカ合衆国全土から患者が来院しています。

「『適切な代替医療』 鈴木信孝編著 日本医療情報出版」より